

KRC WEB REPORT

徒然想

冬季オリンピックでは、世界の舞台で選手たちが全力を尽くす姿が、多くの感動を届けてくれました。その成果の裏側には、長い準備期間と、コーチやスタッフなど支え合うチームの存在があります。個人競技であっても、一人では成し得ない結果であることを、あらためて感じさせられます。私たちの日常業務においても、互いの役割を尊重し、連携を重ねることで、より良い価値を生み出すことができます。そして、その取り組みが実を結ぶのは、常にお客様の存在があってこそです。日頃よりお寄せいただいているご信頼とご支援に、心より感謝申し上げます。今後もチーム一丸となり、誠実な対応に努めてまいります。

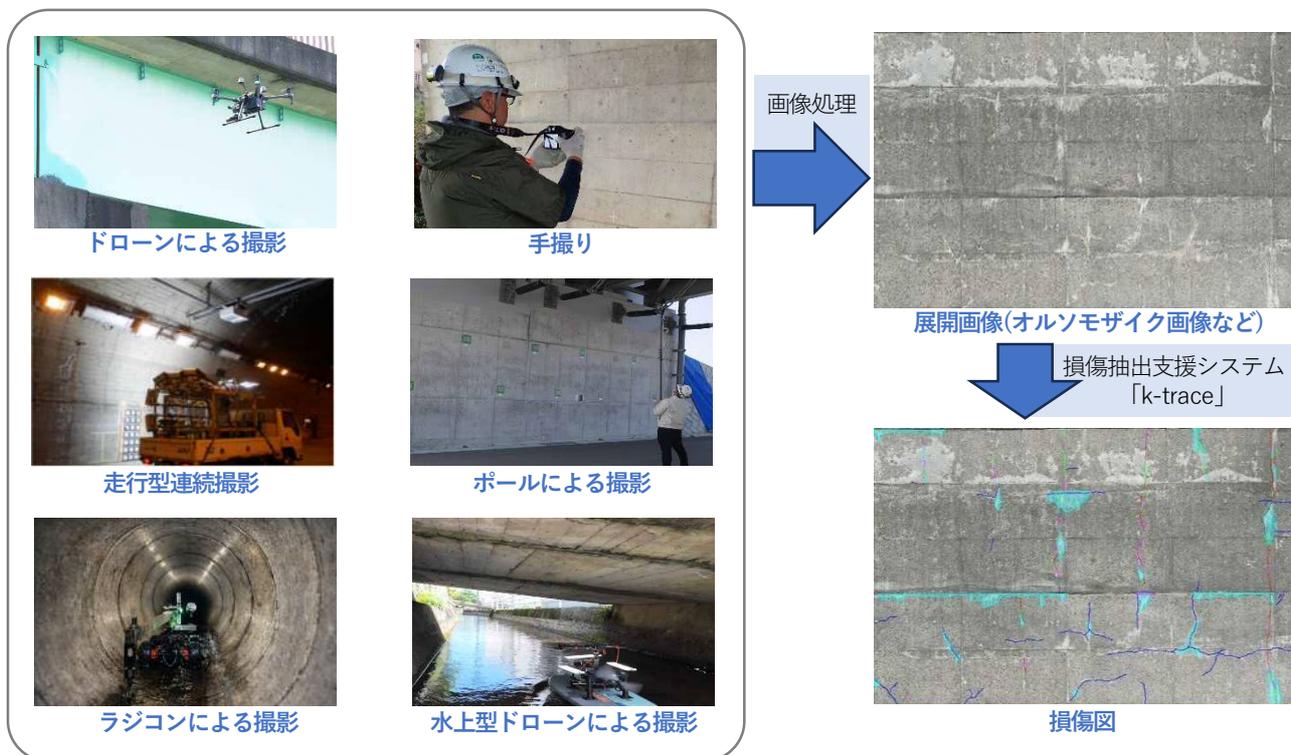
TECHNICAL TOPICS 今月の技術情報

画像を用いたインフラ構造物の点検について

国土交通省では、道路構造物点検の効率化・高度化を進めるため「点検支援技術性能カタログ」を整備し、令和4年度からは橋梁やトンネルでの点検支援技術の活用が原則化されています。なかでも画像を活用した点検は、目視点検に比べて客観性や再現性が高く、記録として残せることから、維持管理の現場で重要な役割を担うようになっていきます。

当社では、構造物の形状やアクセス条件に応じて、ドローンによる近接撮影、手持ちカメラでの高解像度撮影、トンネルでの走行型連続撮影、狭小空間でのラジコン撮影など、最適な撮影方法を選択しながら画像取得を行っています。取得した画像は、SfM/MVSなどの解析により位置・寸法情報を持つ展開画像へと整形し、損傷図の作成や評価に活用しています。また、ひび割れの位置や幅を自動抽出する自社開発システム「k-trace」により、より精度の高い診断を行うことが可能です。

橋梁・トンネル・ダム・擁壁・管路など、さまざまなコンクリート構造物に対応できる技術を備えておりますので、点検方法の検討段階からでもお気軽にご相談ください。



k-traceのより詳しい内容は、こちらのWEBレポートをご参照ください。
 トンネル撮像システム・損傷抽出支援ソフトウェア「k-trace」【TN010021-V0022】
<https://www.krcnet.co.jp/topicsweb/topics177.htm>
 損傷抽出支援システム「k-trace」【BR010042-V0325】
<https://www.krcnet.co.jp/topicsweb/topics176.htm>